

令和7年8月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和7年8月 22 日(金)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

発 表 内 容

- 1 8月6日からの豪雨による災害について ……………<防災課>
- 2 ふるさと納税の活用コースの追加について ……………<総合政策課>
- 3 渋谷キューズの首都圏活動拠点としての活用について
……………<移住交流推進課>
- 4 定額減税に係る調整給付金の不足額給付について ……………<税務課>
- 5 2025 佐渡国際トライアスロン大会の開催について ………<観光振興課>

【事前質問】

- ① お盆前後の入り込み客数について、前年度の比較も交えて結果、所感を示してください。
可能なら 16 カ所の観光施設の総計(難しければ市管理の施設だけでも)、ライドシェアや相川
巡回バス、定期観光バスの利用数も教えてください。
宿泊施設や2次交通、飲食店の状況など今後の課題があればお聞かせください。
(観光振興課)
- ② 今年実施予定の「全ての労働者のための追悼式」について、開催日程など進展がある内容が
あれば、分かる範囲でお聞かせください。(世界遺産課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R7. 8. 22)

1 8月6日からの豪雨による災害について

【配布資料あり】

<概要>

- この度の豪雨では、羽茂地区で8月5日から12日までの降雨量が総計658.5mmに達し、5日から7日までの3日間で414mm、10日から12日までの3日間で241.5mmもの降雨を記録するなど、これまでにない規模の雨量となり、小木、羽茂、赤泊の3地区を中心に大きな被害が発生しました。
- 大規模な被害も想定されましたが、人命や深刻な洪水被害は免れることができました。そのことは本当に不幸中の幸いだったと考えています。
- 主な被害の状況ですが、県道では9カ所の通行止めが発生（現在4カ所復旧）し、市道では88カ所の通行止めが発生（現在24カ所復旧）しました。そのほか、水田などの被害が323件、建物の被害が53件報告されています。（8月20日現在の状況）
- 6日午後4時に小木、羽茂、赤泊地区で避難指示を発令し、その後8日午前8時までの間に合計6カ所の避難所を開き、252名が避難されました。また、次の大雨のピークである10日午後7時30分から12日の朝にかけて小木、羽茂、赤泊に自主避難所を開設し、25名の方が自主的に避難されました。
- 災害の対応に当たって、北陸農政局から支援・助言チーム「マフサット」を、北陸地方整備局からは情報連絡員「リエゾン」をそれぞれ派遣していただきました。
- 応急復旧経費など緊急的に必要な経費を専決処分した補正予算や本復旧に向けたスケジュールを踏まえつつ、最大限努力し一日でも早い復旧を目指して取り組んでまいります。

2 ふるさと納税の活用コースの追加について

<概要>

- 佐渡市のふるさと納税の活用コースに新たに防災と医療の分野を追加します。
【防災：災害に強い島づくり応援コース】
- 近年の気候変動により、自然災害の激甚化や頻発化が進む中で、国では本年6月に新たに国土強靱化の実施計画を策定し、半島や離島など条件不利地域が特に重点的な対策が必要な地域として定められました。

- 佐渡市においても近年の大雪による停電の長期化や、能登半島地震による被災、今般の豪雨災害なども踏まえ、気候変動を踏まえた離島の防災体制の再構築の必要性を再認識したところです。

【医療：島の医療体制応援コース】

- 人口減少や高齢化の中で、医療の高度化が求められ、厳しい経営が迫られている医療機関について、診療報酬の見直しや病院経営、医療機器の更新への支援を国会議員をはじめ、関係省庁や新潟県に強く要望をしているところです。
- 引き続き、佐渡医療圏の再生に向けた医療機関への支援など、離島の医療体制の再構築を図る必要があると考えています。
- 離島に人が住み続けるために必要なライフラインである医療体制や災害に強い防災体制の再構築は、どちらも持続可能な島づくりに必要不可欠な政策課題ですので、ふるさと納税によって、首都圏をはじめ全国の皆さまからご理解をいただき、ご賛同をお寄せくださいますようお願いいたします。

3 渋谷キューズの首都圏活動拠点としての活用について

<概要>

- 佐渡市では、関係人口の拡大や企業誘致をはじめ、首都圏で活動する人材や企業との交流拠点として、令和5年10月より渋谷キューズを積極的に活用しています。
- 渋谷駅直結の「渋谷スクランブルスクエア」の15階にあります渋谷キューズは、アクセスもよく、ビジネスマンやスタートアップだけではなく、大学や行政など多様な人材が集まる交流拠点です。
- 佐渡市内の事業者や市民の皆さまにも東京における活動拠点としてご活用いただいており、首都圏企業との新たな連携の構築や、新たなビジネスチャンスの創出に繋がるよう取り組んでいます。
- 佐渡市に関係のある方であれば、施設を無料でご利用でき、佐渡市が主催する交流会をはじめ、市内事業者による新規事業のリリースイベントなどを毎月開催しています。
- 今後も渋谷キューズを市内事業者の皆さまを中心に、積極的に首都圏の活動拠点等としてご利用いただきたいと考えています。

4 定額減税に係る調整給付金の不足額給付について

<概要>

- 国のデフレ完全脱却のための総合経済対策における物価高騰対策として昨年実施した、定額減税しきれない方への調整給付金について、確定した令和6年分の所得を基に改めて算定し、給付が不足する方や昨年中に扶養家族が増えた方、事業専従者等で定額減税の対象にならなかった方などへの給付を行います。
- 対象となる方には、8月29日以降に通知文書を発送します。お手元に届きましたら、記載内容をご確認いただき、10月末日までに手続きをお願いします。
- 制度の内容については、市報さど「8月号」や市ホームページでもお知らせしています。

5 2025 佐渡国際トライアスロン大会の開催について

<概要>

- 2025 佐渡国際トライアスロン大会を9月7日（日）に開催します。
前日の9月6日（土）には佐渡ジュニアトライアスロン大会を開催します。
- 日本で唯一のトライアスロン専門誌「トライアスロン ルミナ」において、2024 ベストレースランキングで7回連続1位を獲得しており、国内でも圧倒的な支持をいただいています。
- 北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から約2,000名の選手が集結します。
- 大会に関連するイベントとして、9月5日（金）には、毎度恒例の交流イベント「島祭りパーティー」を開催します。
- 大会翌日の9月8日（月）には、大会をダイジェスト動画で振り返りながら佐渡の食やお酒を堪能していただく「またこいっちゃパーティー」を実施します。
- 大会翌日の早朝には、選手と合同で会場周辺のクリーンアップも企画しています。
- 大会ボランティアは、島内外約800名（8月6日現在）からご応募をいただいています。
選手の皆さまのサポートのため、一丸となって運営に取り組みますので、島民の皆さまも、沿道で選手に温かい応援をお願いします。

【事前質問】

- ① お盆前後の入り込み客数について、前年度の比較も交えて結果、所感を示してください。
可能なら16カ所の観光施設の総計（難しければ市管理の施設だけでも）、ライドシェアや相川巡回バス、定期観光バスの利用数も教えてください。

宿泊施設や2次交通、飲食店の状況など今後の課題があればお聞かせください。

- ・ お盆前後の、8月9日（土）から17日（日）までの観光入込数は推計値で34,583人となり、前年（8月10日から18日 33,672人）と比較し102.7%、島内の宿泊者数の推計値は14,780人となり、前年（8月10日から18日 14,224人）と比較して103.9%という状況でした。
- ・ 市営施設を含む16カ所の観光施設の入館者数総計は、推計値で61,409人となり、前年（8月10日から18日 57,236人）と比較し、107.3%という状況でした。
- ・ 佐渡版ライドシェアは実注文数36件、配車件数23件の稼働があり、相川周遊バスについては、臨時便を増便したこともあり、利用者数は783人で、前年と比較し110.1%、定期観光バスについては、252人にご利用をいただきました。
- ・ 世界遺産登録直後の昨年の状況から引き続き堅調な実績が出ており、国内外からの注目度が向上し、世界遺産登録の効果が継続しているものと感じています。
- ・ 観光客の受入にあたっては、来訪者の皆さまにご不便を掛けることなく、世界遺産の島、そして佐渡の夏を存分に満喫いただけたものと考えています。
- ・ 今後の課題については、宿泊施設や2次交通、飲食店におけるサービスの向上や人材の育成を含め、しっかりとしたおもてなしができる体制の構築が重要であると思います。
- ・ インバウンド需要の取り込みに向けては、まだまだ佐渡の認知度の向上が課題であり、世界文化遺産に関連する無名異焼や能などの文化や歴史を通じて、インバウンド誘客のためにヨーロッパやアジアに向けた情報発信について、新潟県とも連携しながら取り組みます。

【R7-R6 お盆期間比較】

【観光客入込】

	令和7年 8/9（土）～8/17（日） 9日間	令和6年 8/10（土）～8/18（日） 9日間	前年比
入込数	34,583	33,672	102.7%

【宿泊者数】

	令和7年 8/9（土）～8/17（日） 9日間	令和6年 8/10（土）～8/18（日） 9日間	前年比
宿泊者数	14,780	14,224	103.9%

【市内観光施設入館者数】

	令和 7 年 8/9（土）～8/17（日） 9 日間	令和 6 年 8/10（土）～8/18（日） 9 日間	前年比
入館者数	61,409	57,236	107.3%

【民間施設】

史跡佐渡金山、尖閣湾揚島遊園、佐渡版画村美術館、佐渡歴史伝説館、
西三川ゴールドパーク、尾畑酒造、力屋観光汽船、宿根木案内所

【市営施設】

トキの森公園、佐渡奉行所、両津郷土博物館、新穂歴史民俗資料館、
佐渡国小木民俗博物館、日本アマチュア秀作美術館、佐渡博物館、
きらりうむ佐渡

【佐渡版ライドシェア】

	令和 7 年 8/9（土）～8/17（日） 9 日間	令和 6 年 8/10（土）～8/18（日） 9 日間	前年比
配車件数	23	32	71.9%

【相川周遊バス】

	令和 7 年 8/9（土）～8/17（日） 9 日間	令和 6 年 8/10（土）～8/18（日） 9 日間	前年比
利用者数	783	711	110.1%

【定期観光バス】

	令和 7 年 8/9（土）～8/17（日） 9 日間	令和 6 年 8/10（土）～8/18（日） 9 日間	前年比
利用者数	252	—	—

② 今年実施予定の「全ての労働者のための追悼式」について、開催日程など進展がある内容があれば、分かる範囲でお聞かせください。

- ・ 「佐渡島の金山」追悼式は、世界遺産登録時に日本政府代表ステートメントで毎年、地元で実施するとされたものです。
- ・ 昨年と同様、佐渡市内の民間団体が主体となり、新潟県と佐渡市とともに実行委員会を組織して開催できるよう、準備を進めているところです。
- ・ 国県とも連携しながら、日程等も含め現在調整をしているところです。

8月6日からの豪雨による災害について(配布資料)

地区ごと被害件数集計表

地区\被害	農産被害	農道被害	林産被害	林道被害	水産被害	建物被害	道路被害	河川被害	上水道被害	下水道被害	その他	合計
両津	7	0	0	2	0	3	8	1	0	0	0	21
相川	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
佐和田	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	4
金井	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
新穂	2	0	0	4	0	0	3	0	0	0	0	9
畑野	9	0	0	5	0	1	29	1	0	0	1	46
真野	15	5	0	12	0	0	20	0	1	0	5	58
小木	19	3	0	0	1	14	46	5	1	0	7	96
羽茂	223	39	0	9	0	23	119	2	2	1	23	441
赤泊	47	9	0	18	0	10	76	0	0	0	12	172
合計	323	56	0	52	1	53	303	9	5	1	48	851

8月20日 現在累計